

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）
分担研究報告書

重症多形滲出性紅斑に関する調査研究

研究分担者（順不同） 乾あやの 済生会横浜市東部病院 小児肝臓消化器科 部長
研究協力者（順不同） 小林宗也 済生会横浜市東部病院 小児肝臓消化器科 医員

研究要旨 多形紅斑が出現する様々な疾患や多形紅斑を主症状とする重症薬疹を対象として、重篤な肝合併症を発症した症例の頻度や予後を解析する。

A. 研究目的

スティーブンス・ジョンソン症候群 (SJS) および中毒性表皮壊死症 (TEN)、薬剤性過敏症症候群 (DIHS) を対象として、重篤な肝合併症（特に胆管消失症候群）を発症した症例の頻度や予後を解析する。

B. 研究方法

これまでの二次調査による EM、SJS、TEN の登録症例から肝合併症を評価するため、他の臓器（肺、腎）合併症の研究分担者と協力し、肝合併症の三次調査票を作成した。

(倫理面への配慮)

当院の倫理委員会にて承認を受けている。

C. 研究結果

本年度は肺、腎合併症の研究分担者と協力し、三次調査票を作成した。

D. 考察

これまでの二次調査による EM、SJS、TEN の登録症例から胆管消失症候群の症例を検索したところ、トランスアミナーゼ値、総ビリルビン値、 γ -GTP 値の記載はあるが、胆管消失症候群の概念は認識できていなかった。EM、SJS、TEN を診察するのは、主に皮膚科医であり、胆管消失症候群の概念を理解してもらうことが重要である。

E. 結論

三次調査票を取りまとめ、胆管消失症候群を含めた肝合併症の頻度と予後を検討する。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1. 論文発表

藤井まどか，角田知之，高橋ちあき，福田清香，小林宗也，岩本眞理，乾あやの．トラニラストによる Stevens-Johnson 症候群と胆管消失症候群の合併．2020 日児誌 (印刷中)

2. 書籍

特になし

3. 学会発表

特になし

H. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む。)

特になし